

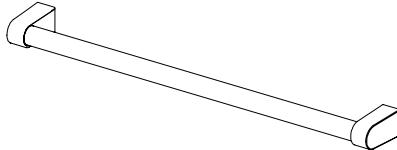
## 施工説明書

## 木手すり

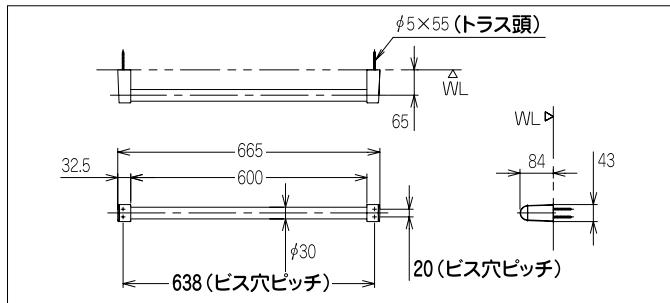
NKF-1SU

商品の機能が100%発揮されるよう、  
本説明書の内容を十分ご理解のうえ  
正しく施工してください。

## ●商品図



## ●寸法図



## ●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

## 用語および記号の説明

## 注意

……取扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。



……「注意しなさい！」（上記の『注意』と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）



……「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）



水場使用禁止

……「バスルームやシャワールームなどの水場で使用してはいけません！」

## ! 注意

必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。

※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。



外れたり、がたが生じないように強固に取り付けてください。



※取付けが不安定となり、ケガをする恐れがあります。



石こうボード等の木ねじのきかないボード張りの壁には必ず取付木を設け、ねじ込み深さを確保してください。

※取付けが不安定となり、ケガをする恐れがあります。

取付けは必ず施工店が行ってください。

※取付けが不安定となり、ケガをする恐れがあります。

屋外や浴室など、水がかかったり湿気の多い場所には設置しないでください。

※部品の腐食により手すりが折れやすくなりケガをする恐れがあります。



水場使用禁止

## ! 注 意

下穴は必ずあけてください。ねじは強く締め付けすぎないでください。  
※インパクトドライバー等の強いトルクが加えられるドライバーの使用はブラケットが破損する原因になります。



指示

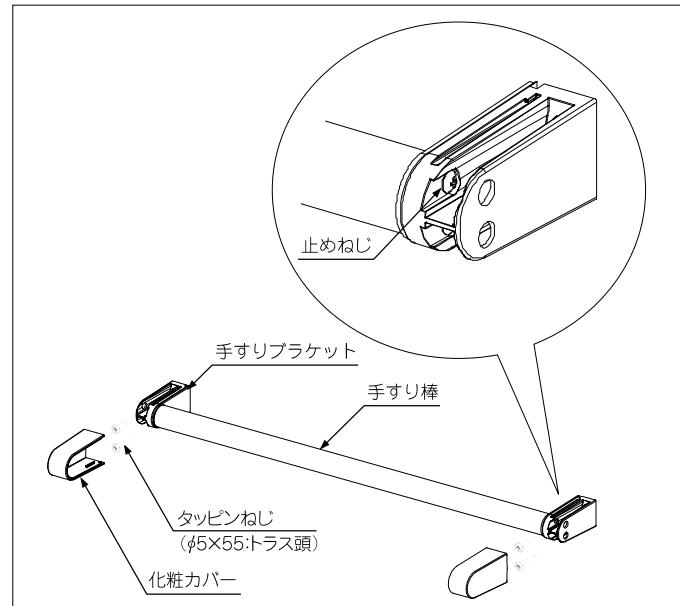
## ●施工前のご注意

- 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。  
※汚れが取れなくなる恐れがあります。
  - 手すりがブラケットとの間でガタがないことを確認してください。ガタがあれば増締めしてください。
  - 落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件をお守りください。  
※壁にフリクがある場合、ワッシャーやスペーサーを用いてフラット面を確保してください。
- [乾式壁の場合]**
- 取付部材として付属のタッピンねじを使用してください。  
ねじ込み深さが30mm以上になるように取付木（補強木）を設けてください。  
※取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。
  - 石こうボード等のボード張りにはタッピンねじはききません。  
必ずあらかじめ壁裏に取付木を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
  - ボード張りの厚さは12.5mm以下を想定しています。厚さが12.5mmを越える場合は、越えた分だけ長いタッピンねじを別途用意してください。

**[湿式壁の場合]**

- 取付部材として別売のAYボルト（AY-84）を使用してください。
- 下材はコンクリートとし、取付部の奥行は70mm以上（コンクリートの厚さは40mm以上）を確保してください。
- 壁仕上材（モルタル、モルタル+タイル等）の厚さは20mm以下としてください。
- ALC材やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
- 木すり下地、ラスボード下地への取付けは、乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木（補強木）をいれ、必要なねじ込み深さを確保してください。

## ●各部の名称



株式会社 LIXIL

●商品・施工方法についてのお問い合わせ

お客様相談センターまで

ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00~18:00

土日・祝日 9:00~17:00

(ゴールデンウィーク、年末年始、夏期休暇は除く)

## ●手すりの長さ調整

手すりの長さを調整するときは、以下の注意を必ず守ってください。

### ！注意

- 手すり棒の切断は、必ず手すり棒を固定して、直角に切断してください。



※手すり棒の切断面が斜めになると手すりプラケットも斜めに組み付いてしまうため、品位が低下する恐れがあります。

- 下穴を開けるときは、必ず手すり棒を固定してまっすぐ下穴を開けてください。



※取り付けが不安定になり、ガタツキや強度低下の恐れがあります。

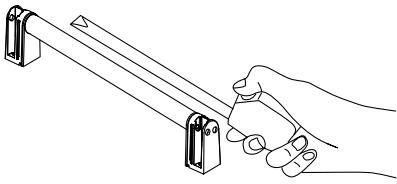
- 手すりプラケットと手すり棒が必ず面で当たるようにして、止めねじを締め付けてください。



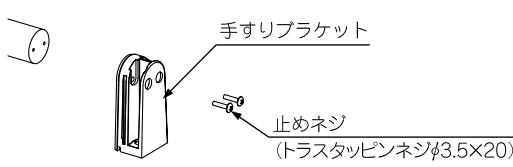
※※取り付けが不安定になり、ガタツキや強度低下の恐れがあります。

手すり棒の長さを短くしたいときは、以下の手順で行ってください。

- ①短くする長さを決めます。



- ②片側の手すりプラケットに組み付いている止めねじ2本を取り外し、手すりプラケットを手すり棒から取り外します。



- ③切りたい位置にけがきをしてください。

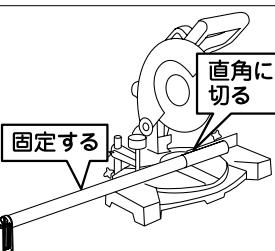
けがき

### ！注意

必ずけがきを直角に入れてください。

※切断面が斜めになると品位低下の恐れがあります。

- ④手すり棒を固定し、直角に切断します。



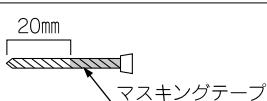
### ！注意

手すり棒を切断するときは卓上丸のこ等を使って直角に切断してください。

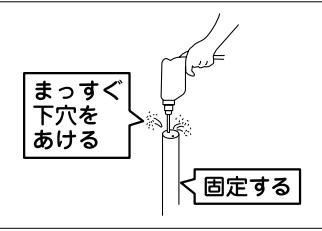
※切断面が斜めの状態で手すりプラケットに組み付けると、品位低下の恐れがあります。

- ⑤手すりプラケットを差し込み、壁や床で平行を出し、下穴の位置2ヶ所にけがきをしてください。

- ⑥φ2.5のドリルビット先端に20mm残し、根元にマスキングテープを巻きます。



- ⑦手すり棒を固定し、マスキングテープを目印にしてφ2.5、深さ20mmの下穴を開けます。



### ！注意

下穴を開けるときは、必ず手すり棒を固定してまっすぐ下穴を開けてください。

※取り付けが不安定になり、ガタツキや強度低下の恐れがあります。

- ⑦手すり棒に⑦で取り外した止めねじ2本と手すりを組み付けます。

### ！注意

手すりプラケットと手すり棒が必ず面で当たるようにして、止めねじを締め付けてください。

※取り付けが不安定になり、ガタツキや強度低下の恐れがあります。

## ●施工方法

1. 手すり棒と手すりプラケットとの間でガタがないことを確認してください。

※ガタがある場合手すりの止めねじを増し締めしてください。

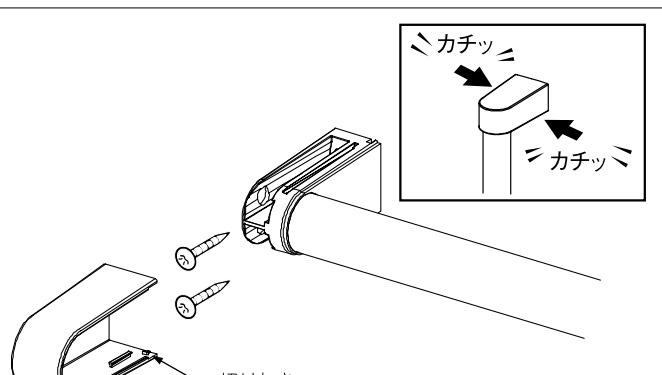
2. 手すりの取付位置を決め、取付穴位置をマークして下穴を開けます。

下穴は下表を参照してください。

呼び(品番)	下穴寸法(mm) 径 深さ	必要数	
		径	深さ
タッピンねじ (付属)	φ5 3.2~3.7 約50	4	
AYボルト (別売り)	M5 (AY-84) 8.5~9.5 約70	4	

3. 手すりプラケットを付属のタッピンねじ、または別売りのAYボルト(AY-84)で壁に取り付け、化粧カバーをかぶせます。

※化粧カバーは、「カチッ」と手応えがあるまでしっかりと挿入し、ツメが手すりプラケットに完全にはまり込むまで押し込んでください。



※1度はめ込んだ化粧カバーを取り外す必要が生じた場合は、切り欠きに細いマイナスドライバーの先端を差し込み両サイドのツメを浮かせてから外してください。

## ●施工後の注意

- ガタつきがないことを確認してください。

※固定後、壁面または壁紙の凹凸により手すりがガタつく場合は、各プラケットの裏側にワッシャーやスペーサーを用いてガタつきがなくなるように調節してください。